

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

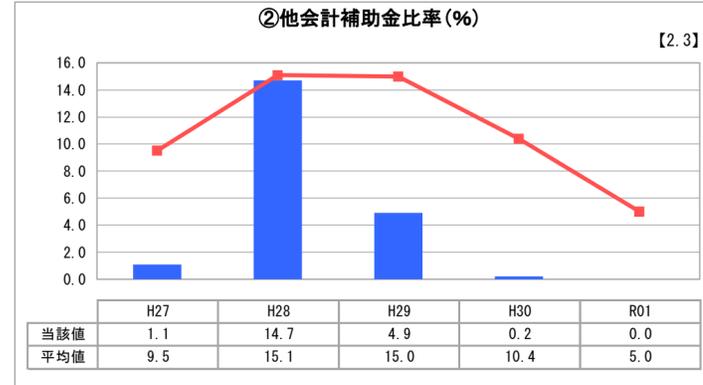
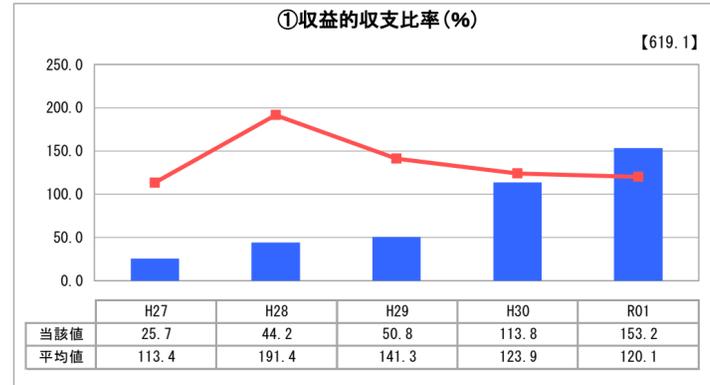
兵庫県芦屋市 JR芦屋駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	23	

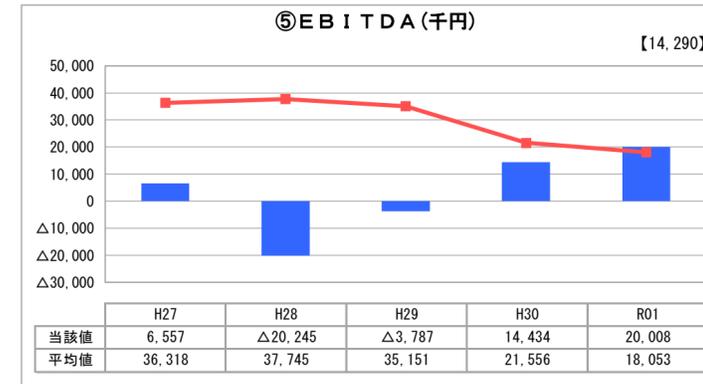
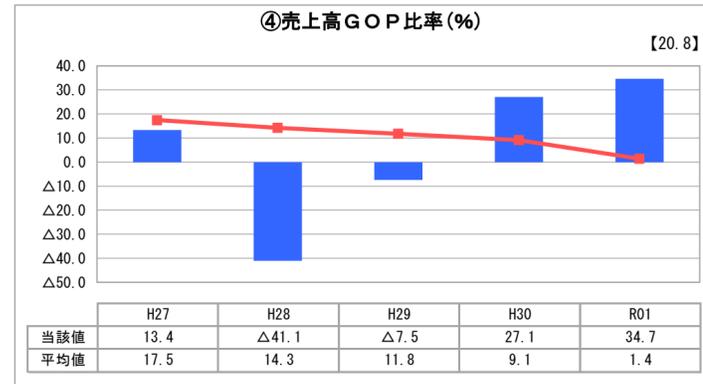
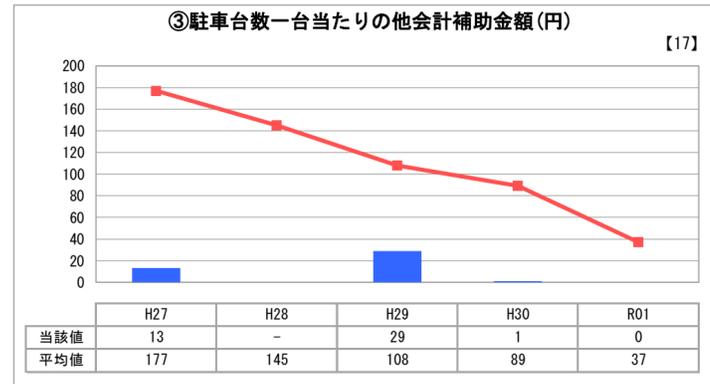
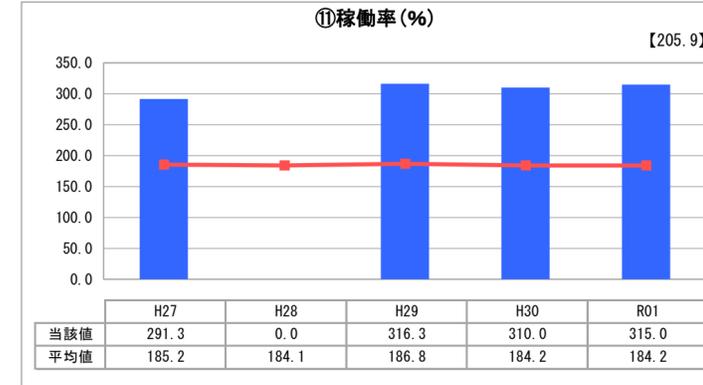
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
商業施設	無	9,570
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
160	500	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
□ 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

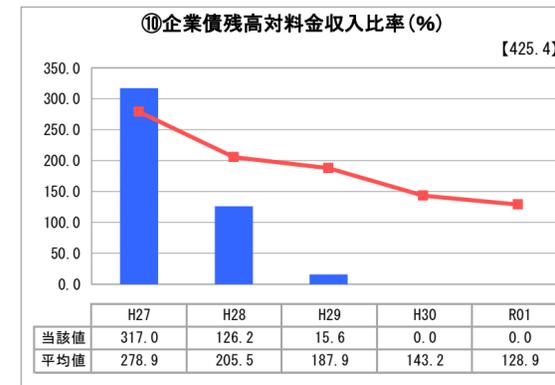


⑦敷地の地価(千円)

865,046

⑧設備投資見込額(千円)

315,579



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 平成30年度をもって償還金の返済が完了したため、今年度から繰入金がなくなり、各指標の数値の改善が進んだ。  
 しかしながら、年度終盤に新型コロナウイルス感染症の流行による利用台数の減少傾向が見られたため、次年度以降の収益等の見通しは、感染症の終息時期とともに不透明な状況である。

2. 資産等の状況について  
 施設建設から20数年が経過し、今後設備更新に多額の費用を要することを見込んでいる。  
 企業債残高対料金収入比率は、償還金の返済が完了しているため、引き続きゼロの状態となる。

3. 利用の状況について  
 長期修繕計画に基づき、適切な設備更新にあわせて利便性を高める改良を行うことで、稼働率は全国平均を超え安定して推移している。

全体総括  
 償還金の返済完了により、各指標の数値改善が進んだが、その一方で新型コロナウイルス感染症の流行という新たな懸念材料が発生し、先が見通せない状況となっている。  
 今後予定している設備更新について、より適切な時期を見極め、現在の稼働状況に応じた適切な能力・規模の設計を行い、利用料収入とのバランスを考慮し、より効果的・効率的な設備の導入及び管理運営に努める。